令和7年度 奈良女子高等学校（全日制課程） 学校評価報告書

建学の精神		三敬銘【敬身、敬学、敬事】　敬身 … 自分らしさを大切に　　敬学 … 生き生きと学び　　敬事 … 誠実な人になろう
スクール・ミッション（学校の使命）		自分らしい人生を実現するための資質・能力の育成
スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー（入学者受け入れに関する方針）	目標に到達するためには、始終小さいことに気をつけて、5つの間違いは3つに減らし、3つの間違いは1つに減らすような学び方ができる人 これに加えて ① 好きなこと、得意なことがあり、それを伸ばしたい人　② 様々なチャレンジを楽しみたい人　③ 自分が他人にしてもらいたいように他人にすることができる人（※言い換えると、他人の嫌がることは絶対にしない人）
	カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）	【目指す学校像】 ・本当にやりたいこと見つかる学校　・大切なことを経験を通して学べる学校 目指す学校像を実現するために、好きなこと・得意なことを伸ばす、自分では気づいていない才能を見つけて伸ばす。それに加えて「未知への挑戦」としてプロジェクト型の多様な学びができるコース活動に取り組むことで『自分らしい人生』が見えてくると考えています。実施にあたって、 ① iPad など ICT 活用　② マイプロジェクトなど探究学習　③ 産学・地域連携 に重点的に取り組んでいます。
	グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）	世界で注目が高まる「Well-being(ウエルビーイング)」。幸せで、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべて満たされた状態にあることをいいます。自分らしい人生とは、ウエルビーイングな人生です。その実現のために育成を目指す資質・能力は 創造的思考力・・・つなぐ力 （異なるアイデアや視点を結びつけ、新しい価値や解決策を生み出す能力。人と人をつなげる能力も含まれます。） 社会人基礎力・・・◇ 前に踏み出す力　◇ 考え抜く力　◇ チームで働く力

学校評価アンケートは、生徒・保護者・教職員の3者に分けて実施、各質問項目に次の4段階で評価した。

4 とても当てはまる　3 やや当てはまる　2 あまり当てはまらない　1 まったく当てはまらない　※ 保護者は、左記選択肢に「0 判断できない」を含めて実施

以下の表の生徒・保護者・教員の%の数字は、全体に対する肯定的な回答（4または3と回答）の割合。

領域	アンケート項目（生徒用）	生徒	保護者	教職員	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	① 『建学の精神』・『スクール・ミッション』や『スクール・ポリシー』についてわかりましたか。	87.5	89.0	95.2	A	—
	⑮ 学校は、ホームページ、インスタグラムやメール配信により適切な情報発信を行っていますか。	91.3	92.3	95.2	A	—
2 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れに関する方針）	② 目標に向けて、小さな努力を続けていますか。	88.9	88.3	85.7	A	—
	③ 好きなこと、得意なことがあり、それを伸ばそうとしていますか。	90.4	88.3	76.2	A	—
	④ 様々な取組に積極的に挑戦していますか。	77.4	81.3	76.2	B	—
	⑤ 他人の嫌がることは絶対にしていませんか。	89.4	85.9	38.1	B	—
3 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）	⑥ 本当にやりたいことが見つかりましたか。	69.2	69.5	71.4	B	—
	⑦ iPad など ICT を活用した取組ができていますか。	90.4	87.5	95.2	A	—
	⑧ 『NJ SDGs』や『マイプロジェクト』などの探究学習ができていますか。	88.0	79.7	90.5	A	—
	⑨ 外部講師から学んだり、地域・企業と連携して学習に取り組んだりしていますか。	70.7	60.9	90.5	B	—
4 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）	⑩ 学校での取組を通して、創造的思考力（つなぐ力）が、前よりついたと思いますか。	83.2	81.3	71.4	B	—
	⑪ 学校での取組を通して、社会人基礎力(前に踏み出す力)が、前よりついたと思いますか。	81.7	86.7	71.4	B	—
	⑫ 学校での取組を通して、社会人基礎力(考え抜く力)が前よりついたと思いますか。	83.2	78.9	62.0	B	—
	⑬ 学校での取組を通して、社会人基礎力(チームで働く力)が前よりついたと思いますか。	85.1	82.0	71.4	B	—
	⑭ 自分の今の状態は、well-being(ウエルビーイング)といえますか。	73.1	71.8	81.0	B	—
5 生徒指導	⑯ 学校は、いじめ防止基本方針にのっとり、生徒のいじめの未然防止や早期発見に努め、適切に対応していますか。	85.6	76.6	90.5	A	—
6 進路指導	⑰ 学校は、適切な情報提供や面談などをとおして、生徒に細やかな進路指導を行っていますか。	90.9	88.3	85.7	A	—
7 人権教育	⑱ 学校は、生徒の人権尊重意識を高め、豊かな人間関係づくりに取り組んでいますか。	87.5	84.4	90.5	A	—
8 施設管理	⑲ 学校は、施設・設備を点検管理し、教育環境の整備に取り組んでいますか。	82.2	84.4	61.9	A	—
9 保健・安全指導	⑳ 学校は、生徒の健康管理、地震・火災など災害時の安全管理に取り組んでいますか。	92.8	91.4	71.4	A	—
10 教職員のみ	本校は、分掌・コース・学年、教科等が連携しながら、教育活動に取り組んでいる。	-	-	76.2	B	—

自己評価の方法

手順1　生徒・保護者・教職員の三者について、肯定的な回答（4または3）の割合を3で除して平均を算出する。

手順2　手順1によって得られた点数について、80%以上であれば「A」、60%以上80%未満であれば「B」として、」自己評価とした。

次年度に向けての改善策

1 学校経営	『建学の精神』・『スクール・ミッション』・『スクール・ポリシー』を HP 等はもちろん、いろんな機会に触れることで周知に努める。
2 アドミッション・ポリシー	募集案内・行事において明示し、入学希望者に周知を図る。また、入学後も節目ごとに継続して確認を行う。
3 カリキュラム・ポリシー	学校選択教科や探究学習に加えて、コース活動や必修教科においても探究的な学び方ができる単元を開発し、実践を継続的に行う。 校外のイベントや学外コンテストなどに主体的に参加できるように支援する。個々の達成を支援できる方策を模索する。
4 グラデュエーション・ポリシー	授業や課外活動などにおいて、「振り返り」を重視し、その中でグラデュエーション・ポリシーの成長を可視化する。 卒業生のその後を追跡することで、その成果や課題を見つけ、次年度に繋げる。
5 生徒指導	いじめ防止基本方針の改定と周知するとともに、未然防止と早期発見に努める。
6 進路指導	高校生活で行った活動や学習すべてを、進路指導に生かせる実践を追求する。
7 人権教育	人権尊重の意識を高めるとともに、コミュニケーション能力を育み豊かな人間関係の構築が自ら行える生徒を育成する。
8 施設管理	ICT 環境の整備と、各教室の環境改善に努める。
9 保健・安全指導	定期的な保健たよりの配信。地震・火災・防犯想定の避難訓練の実施
10 教職員のみ	学年担任（事務担当制）のメリットを生かす。学年の壁を乗り越えたチーム体制の教職員集団を目指す。

令和7年度 奈良女子高等学校（通信制課程） 学校評価報告書

建学の精神		三敬銘【敬身、敬学、敬事】　敬身 … 自分らしさを大切に　　敬学 … 生き生きと学び　　敬事 … 誠実な人になろう
スクール・ミッション（学校の使命）		自分らしい人生を実現するための資質・能力の育成
スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー （入学者受け入れに関する方針）	目標に到達するためには、始終小さいことに気をつけて、5つの間違いは3つに減らし、3つの間は1つに減らすような学び方ができる人 これに加えて ① 好きなこと、得意なことがあり、それを伸ばしたい人　② 様々なチャレンジを楽しみたい人　③ 自分が他人にしてもらいたいように他人にすることができる人 （※言い換えると、他人の嫌がることは絶対にしない人）
	カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に関する方針）	【目指す学校像】 ・本当にやりたいこと見つかる学校　・大切なことを経験を通して学べる学校 目指す学校像を実現するために、好きなこと・得意なことを伸ばす、自分では気づいていない才能を見つけて伸ばす。それに加えて「未知への挑戦」として、多様な学びができる本校通信制課程の活動に取り組むことで『自分らしい人生』が見えてくると考えています。実施にあたって、 ① レポート学習　② スクーリング　③ テスト　④ 製菓・調理体験、デザイン講座　⑤ 校外学習、修学旅行 などに重点的に取り組んでいます。
	グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に関する方針）	世界で注目が高まる「Well-being(ウエルビーイング)」。幸せで、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべて満たされた状態にあることをいいます。自分らしい人生とは、ウエルビーイングな人生です。その実現のために育成を目指す資質・能力は 創造的思考力・・・つなぐ力 （異なるアイデアや視点を結びつけ、新しい価値や解決策を生み出す能力。人と人をつなげる能力も含まれます。） 社会人基礎力・・・◇ 前に踏み出す力　◇ 考え抜く力　◇ チームで働く力

学校評価アンケートは、生徒・保護者・教職員の3者に分けて実施、各質問項目に次の4段階で評価した。

4 とても当てはまる　3 やや当てはまる　2 あまり当てはまらない　1 まったく当てはまらない　※ 保護者は、左記選択肢に「0 判断できない」を含めて実施

以下の表の生徒・保護者・教員の%の数字は、全体に対する肯定的な回答（4または3と回答）の割合。

領域	アンケート項目（生徒用）	生徒	保護者	教職員	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	① 『建学の精神』・『スクール・ミッション』や『スクール・ポリシー』についてわかりましたか。	77.5	70.3	100	B	—
	⑮ 学校は、ホームページ、スラック、プリントにより適切な情報発信を行っていますか。	92.2	95.2	95.0	A	—
2 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れに関する方針）	② 目標に向けて、小さな努力を続けていますか。	80.0	78.0	85.5	A	—
	③ 好きなこと、得意なことがあり、それを伸ばそうとしていますか。	72.5	85.2	95.0	B	—
	④ 様々な取組に積極的に挑戦していますか。	68.5	85.2	85.5	B	—
	⑤ 他人の嫌がることは絶対にしていませんか。	98.2	85.2	100	A	—
3 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）	⑥ 本当にやりたいことが見つかりましたか。	58.8	48.6	77.5	B	—
	⑦ スクーリング、レポート学習、テストの通信制課程の学び方がうまくできていますか。	86.5	78.0	85.5	A	—
	⑧ 製菓・調理体験、デザイン講座などに積極的に取り組んでいますか。	—	—	—	—	—
	⑨ 修学旅行や校外学習など行事に主体的に参加していますか。	95.0	80.3	100	A	—
4 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）	⑩ 学校での取組を通して、創造的思考力（つなぐ力）が、前よりついたと思いますか。	78.0	65.2	85.5	B	—
	⑪ 学校での取組を通して、社会人基礎力(前に踏み出す力)が、前よりついたと思いますか。	80.0	81.2	85.5	A	—
	⑫ 学校での取組を通して、社会人基礎力(考え抜く力)が前よりついたと思いますか。	65.5	68.8	77.6	B	—
	⑬ 学校での取組を通して、社会人基礎力(チームで働く力)が前よりついたと思いますか。	45.5	51.6	65.8	B	—
	⑭ 自分の今の状態は、well-being(ウエルビーイング)といえますか。	58.8	40.5	77.6	B	—
5 生徒指導	⑯ 学校はいじめ防止対策や、生徒の健全育成に努めていますか。	85.0	81.2	100	A	—
6 進路指導	⑰ 学校は、適切な情報提供や面談などをとおして、生徒に細やかな進路指導を行っていますか。	78.0	80.3	95.0	A	—
7 人権教育	⑱ 学校は、生徒の人権尊重意識を高め、豊かな人間関係づくりに取り組んでいますか。	80.0	81.3	100	A	—
8 施設管理	⑲ 学校は、施設・設備を点検管理し、教育環境の整備に取り組んでいますか。	75.5	65.2	77.6	B	—
9 保健・安全指導	⑳ 学校は、生徒の健康管理、地震・火災など災害時の安全管理に取り組んでいますか。	45.5	85.2	95.0	B	—
10 教職員のみ	本校は、分掌・学年、教科等が連携しながら、教育活動に取り組んでいる。	—	—	85.5	A	—

自己評価の方法

手順1　生徒・保護者・教職員の三者について、肯定的な回答（4または3）の割合を3で除して平均を算出する。

手順2　手順1によって得られた点数について、80%以上であれば「A」、60%以上80%未満であれば「B」として、」自己評価とした。

次年度に向けての改善策

1 学校経営	『建学の精神』・『スクール・ミッション』・『スクール・ポリシー』を HP 等はもちろん、いろんな機会に触れることで周知に努める。
2 アドミッション・ポリシー	募集案内・行事において明示し、入学希望者に周知を図る。また、入学後も節目ごとに継続して確認を行う。
3 カリキュラム・ポリシー	学校選択教科や探究学習に加えて、コース活動や必修教科においても探究的な学び方ができる単元を開発し、実践を継続的に行う。 校外のイベントや学外コンテストなどに主体的に参加できるように支援する。個々の達成を支援できる方策を模索する。
4 グラデュエーション・ポリシー	授業や課外活動などにおいて、「振り返り」を重視し、その中でグラデュエーション・ポリシーの成長を可視化する。 卒業生のその後を追跡することで、その成果や課題を見つけ、次年度に繋げる。
5 生徒指導	それぞれの生徒の家庭環境や特性に応じた柔軟な生徒指導を追求する。
6 進路指導	進路決定率 90%以上を目標にすえ、生徒の特性や希望を満たせる進路先の開拓を進める
7 人権教育	「自分を大切に、他人も大切に」を基本に、コミュニケーション造りを大切にする。
8 施設管理	生徒数の増加に伴う教室整備や、ITC 環境の充実を図りたい。
9 保健・安全指導	定期健康診断の全員受診。社会の交通マナーの順守を徹底する。
10 教職員のみ	学校の動きはすべて自分事としてとらえ、積極的な参画を促したい。